

文法の成り立ちを丁寧に説明するよりも、構文として暗記したほうが効率的なものを集めて収録しました。

助動詞を使った構文

■ 1 would like ~ | ~が欲しいのですが

I **would like** two tickets. チケットを2枚欲しいのですが。 142

would like は want (～が欲しい) よりも控えめで丁寧な言い方 (⇒ p.101 CROSSOVER)。あまり親しくない人や目上の人には would like を使う。

Would you like ~? は「～はいかがですか」という意味を表す。相手に「何かを勧めたり希望を尋ねたりする」ときの丁寧な表現。

“Would you like a drink?” “Yes, please.”/“No, thanks.”

(「飲み物はいかがですか。」「はい、お願いします。」「いいえ、結構です。」)

Do you want ~? でも同じ意味を表せる。親しい人に対して使う。

= “Do you want a drink?” “Yes, please.”/“No, thanks.”

注意 † † † 〈主語 + would〉は短縮形 (I'd) になることも多い (⇒ p.541)。

■ 2 would like to do | ~したいのですが

I **would like to** make a reservation. 予約をしたいのですが。 143

would like to do は want to do (～したい) よりも控えめで丁寧な言い方。あまり親しくない人や目上の人には would like to do を使う。

Would you like to do ~? は「～しませんか」という意味を表す。「相手を誘ったり、何かを勧めたりする」ときの丁寧な表現。

“Would you like to join us?” “Yes, I'd like that.”/“Sorry, I can't.”

(「一緒にどうですか。」「ええ、喜んで。」「すみません、一緒にできません。」)

Do you want to do ~? でも同じ意味を表せる。親しい人に対して使う。

= “Do you want to join us?” “Yes, I'd like that.”/“Sorry, I can't.”

■ 3 would rather do ~ (than do ...) | (…するよりも)むしろ～したい

I **would rather** stay home **than** go out. 144

私は外出するよりもむしろ家にいたい。

「希望を控えめに述べる」表現。rather や than の後には「動詞の原形」がくる。than 以下が省略されることもある。

would rather not do ~ は「どちらかと言えば～したくない」という意味で、「気が進まないことを控えめに伝える」表現。not の位置に注意する。

○ I would rather **not** go out today. × I would not rather go out today.